

# JAMの主張

## 個人名で投票を 中小・ものづくりの声を国政に

機関紙 J A M 2016 年 6 月 25 日発行 第 208 号

6 月 1 日に第 190 通常国会が閉会し、いよいよ第 24 回参議院議員通常選挙が 6 月 22 日公示、7 月 10 日投票の日程で実施される。J A M は、津田やたろう参議院議員の後継者として、「藤川しんいち」J A M 副会長を参議院比例代表候補予定者として 2015 年 3 月に機関決定し、組織の全力を挙げ藤川しんいち支援の取り組みを推進してきた。

J A M は、ものづくり産業で働く 35 万人組合員を結集し、「ものづくり基盤を守るための技能継承」、「大手企業と中小企業間の公正取引の確立」や、「労働者保護ルールの改悪阻止」、「子育て・医療・年金・介護の充実」など安心して働ける社会をめざす政策・制度の実現に向け取り組んでいる。これらの課題は全て政治の場で決まるもので、国会に私たちの代表を送り込まなければ中小・ものづくり産業を代表する声は国政に反映されない。

現在、国会議員は衆・参両院で 717 人いるが、中小・ものづくり産業の現場を熟知する議員は、7 月 25 日で任期満了となる津田やたろう参議院議員を除けば皆無である。その後継者として、単組、地方 J A M、J A M 本部において常に組合員の目線で運動してきた経験と実績を持つ藤川しんいち候補予定者は、必ずや国会の中で私たちの期待以上に活躍してもらえるものと確信する。参議院比例代表選挙は、各政党名簿掲載者の個人名での得票が多い順番で当選が決まる仕組みである。今次選挙で民進党は、支持率が低迷するなか 22 名を公認し、高い個人名での得票レベルでの争いとなるのは必至である。

藤川しんいち候補予定者の必勝に向け、いま私たちがやらなければならないことは二つである。

第一に、選挙区も比例代表も必ず個人名で投票することをすべての組合員と家族の皆様徹底すること。

第二に、棄権防止と期日前投票を強く呼び掛け、すべての組合員と家族に必ず投票に行ってもらおうこと。

J A M に結集するすべての組織がこの二つの取り組みをやりきれば、必ず藤川しんいちを国会に送り出すことができる。残された期間は僅かであるが全力で取り組もう。

副書記長 田中久弥